

今日から使える



写真のコツ

今日から使えるちょっとした写真のコツについて、みよしデジカメクラブのみなさんにアドバイスをもらいました。

アドバイスをくれたのは...

町内外で写真撮影をしている「みよしデジカメクラブ」の皆さん



佐藤 真喜男さん



道川 和則さん



佐山 好一さん

01

たくさん動いてポジションを探す

撮りたいものを見つけたら、いろんな角度から観察して撮影のベストポジションを探しましょう。しゃがんだり逆側に回ってみたり、自分でたくさん動いてみるのが大切です。



アドバイス



いつもと違う視点で撮影してみましょう



02

比較対象を入れてスケール感アップ

主役の被写体だけでなく、その大きさや周りの様子がわかる比較対象も一緒に写しましょう。背景や写真の一部に比較対象を入れることで、スケール感が伝わる写真になります。



アドバイス



背景も意識して構図を決めましょう



03

人物はまばたきと顔の影に注意

人物を撮影するときは、まばたきで目をつぶってしまうことや動きによるブレを防ぐため、複数枚撮影するのがおすすめ。また、フラッシュを使う場合は顔に影がでないように調整しましょう。



アドバイス



声かけで目線をもらいましょう



「写真」旧島田家住宅で写真を撮る野澤倉未さん。歴史のある古民家では雰囲気満点の写真が撮れます。

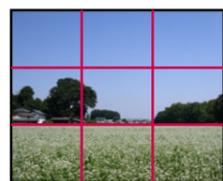
スマホやデジタルカメラなどで気軽に楽しめる写真撮影。町内の風景を散歩気分で撮影してみませんか？

特集・撮ってみよし

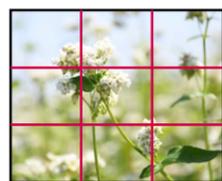
写真コラム

グリッド線でレベルアップ

きれいな写真に共通するのは全体のバランスの美しさ。構図を決める時にグリッド線（罫線）を活用して映える写真を撮りましょう。



線に合わせてまっすぐに撮影できます。



交差点を意識するとバランスがとりやすい。

スマホやカメラの設定でグリッド線を表示



写真コラム

撮影に8時間 史上初の写真



ニセホール！ニエラスが撮影

1826年頃にフランスで撮影されたこの写真は窓からの風景を写したもので、史上初の写真であるとされています。撮影するのにかかった時間は、なんと8時間。この研究が発明の第一歩となり、現在では手軽にきれいな写真を撮るようになりました。

近所で撮ってみよし
カメラのデジタル化やスマホの普及により、誰でも楽しめるようになった写真撮影。しかし、外出の機会が減りがちな最近、家の周りでは撮るものがないと思っている人も多いのではないのでしょうか。
実は、見慣れた近所の風景でも視点を変えて撮影すると、普段とは一味違った風景が楽しめます。今月は写真特集。ファインダーを通して、町の新たな一面を探してみませんか。

(参考) ジョバンニ・キアラモンテ文 パオラ・ボルゴンゾーニ、ジュリアーナ・バンゼーリ絵 稲垣洋子訳『写真の技術の始まり』(人間はどのように考えてきたか①) リブリオ出版 1983年